

【富士吉田市外1市2町4村1組合充て指導主事共同設置事業】	学校教育課
<ul style="list-style-type: none"> ● 首都圏や都会で教育格差があると聞きます。特に都会ほど、裕福な家庭が私立学校に通っていたりするように思います。先進地視察は、公立学校に限るのでしょうか。私立学校も対象でしょうか。 	<p>→主に教育大学付属小中学校で公開講座を行っている場合が多く、私立・公立にこだわるわけではありませんが、開催される学校が限られておりますので、国立教育大学付属校で実施している機会が多いように思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 先進地視察というのは体育部門でいえば、トップアスリートを養成するようなエリートを養成するようなものへの視察ですか。それとももっと幅広い児童生徒に理解度を深めるような、教育効果を高めるためのものですか。 	<p>→後者の方であると思います。突出した何かを研究して小中学校に還元するというよりも、その年々で課題となるようなもの、英語教育やプログラミング、タブレットの活用など、義務教育の中でどのように先生方が児童生徒へ伝えていくかということを主眼として、研究し、そのノウハウを管内の小中学校に講義しに行くというようなものです。</p>
【小中学校学習指導充実事業】	学校教育課
<ul style="list-style-type: none"> ● 教員の志願者が減ってきているので、学生ボランティアを活用し、少しでも教員になる方が増えるといいですね。 	<p>→学生にとっても（学生ボランティア）は非常に勉強になり糧となるので、こうした学生ボランティアを募集しております。</p>
【小中学校特色ある学校づくり事業】	学校教育課
<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人というどうしてもテレビや英語教育から英語圏の白人や黒人というイメージですが、近隣の中国や韓国、東南アジアやイスラム圏など幅広い外国人を想定していただければと思います。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 下一小が学区外から通えるなど特認校制度を取入れ力を入れていますが、他の学校と比較して成果はありますか。 	<p>→特認校の制度は今年度からです。今年度、制度を利用して入学した児童は、入学児全11人のうち3人です。学校としては、地域の要望があり、地域に学校を残すための手段ということもあって特認校の制度を導入しましたが、その中で、きめ細かな教育をすることにより、少人数の良さを活かした教育を行っていくということを歴代の校長先生方がおっしゃっており、その意図もあって特認校を始めました。また、来年度は2年目になりますが、今現在では下一小の新1年生14人のうち、4人が特認校で申し込みをしています。今後、流動するかもしれません。下一小はきめ細やかな教育、1人1人が主役になれる教育ということを目指して特認の制度を利用して学校作りをするということになっています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 各学校が市教委へ申請し、予算が付く仕組み 	<p>→はい。学校の予算は、学校管理予算と学校振興予</p>

<p>ですか。</p>	<p>算、特色ある学校づくり予算の3つの予算内容に分かれております。総枠で考えると、学校管理予算は、下一小と吉田小を比べると、学校規模が大きい吉小の方が予算は増えてきます。振興予算は、教育活動に必要な経費になりますので、子どもの数に応じてというところがあります。特色の予算については、各校の特色事業に係る経費はどのくらいなのかという視点で精査し、予算査定の時に確認をしながら学校予算を決めます。</p>
<p>【学力向上プログラム事業】</p>	<p>学校教育課</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭用電子教材 E ライブラリというのは、CATV で放送していたものですか。それともインターネットで学習できるものですか。 	<p>→インターネットで学習できるものになります。パスワードさえあれば、自宅のパソコン、スマートフォン等で学習することができるものです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 学力向上支援スタッフはどこから募集をしているのですか。 	<p>→学力向上支援スタッフの資格は、教員の免許を持っている、あるいは教員を目指す学生でも良いということで、教員のOBの先生や、短時間勤務の市単の先生方の勤務時間をプラスして、学力向上支援スタッフとして雇用する等で募集をしました。また、学生さんの場合は、まだ一人では教えられませんので、チームティーチングの形で先生の補助につく等、教員免許を持っている方については、ご自分で授業、あるいはチームティーチングの形で教えることもできます。</p>
<p>【富士山教育研究実践事業】</p>	<p>教育研修所</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染防止のため、研修等が中止となっていることは非常に残念であるが、オンライン環境もかなり整ってきているようなので、来年度コロナ禍であっても、オンラインを活用したWEB上での体験や研修を実施してもらえればと思います。 	<p>→実際にオンラインを活用とした研修も可能であると思われますし、児童生徒のケアという点においてもZOOM等を活用していくことも検討して参ります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 富士山学習発表会をしているとのことですが、どのように実施していますか。また、発表のデジタル化についても進める必要があると思います。 	<p>→各学校模造紙に発表内容をまとめ、市民会館、Qスタ2階、及び、ふじさんミュージアム等に掲示をして発表しております。</p> <p>また、ホームページでの掲示も行っており、今後は発表のデジタル化についても検討して参ります。</p>
<p>【外国語指導委任事業】</p>	<p>教育研修所</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 外国語教育について、文部科学省の指導要領に求められていることを考えると、答えが見 	<p>→現状、評価基準はないですが、小学校では英語の学力がどの位あるか、という調査はありません。中</p>

<p>つかりづらく、現場の先生方は大変であることを察します。</p> <p>実績の中で、「児童生徒の言語能力、異文化を高めた」とあるが、どのように評価をしているのですか。</p>	<p>学校はあります。しかしながら、英語が好きか否かというアンケートにおいて「好き」と回答している児童生徒の数が多くなっていることは実感しています。中学校の英語の授業において、大きな声で発音する生徒が増えてきているということは実感しております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 先日、学校訪問に行った際も言いましたが、中学校3年生の受験対策が、過去やってきた英会話とのギャップを考えると、急に文法を詰め込まれて子どもたちは理解できるのか、負担は大きくないか、と思います。 ● 良くはないが、中学校から受験用の英語のみを進めればやりやすいと思います。現実問題として、これから先コミュニケーションは必要にはなりますが、中学3年で受験英語に切替えるのは難しいのかと考えます。 	<p>→市内均等の教育サービスを提供するという考え方の中で、令和元年及び2年においては、市内中学校の1・2年においては英語の授業週4時間中2時間、3年においては1時間、ALTが入って授業を行っています。よって、残りの時間については、文法も含む英語の授業を行っております。</p>
<p>【特別支援スタッフ事業】</p>	<p>学校教育課</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援の対象となる児童生徒は先天的に診断される場合もあると思いますし、小学校に上がった時にある程度スクリーニングされるのですか。 	<p>→就学を控えたお子さんにつきましては、心理士と地域の保健師、福祉課の保健師を同行して市内の保育園・幼稚園での園活動を見に行きます。気になるお子さんについては、年少・年中時に園からピックアップをしていただき、年長児については、くまなく見させていただきます。そのお子さんについては、主に地区担当の保健師が関わっており、地区担当保健師経由で心理士と相談をしているお子さんも多いと思います。地域保健師のつながりから就学相談につなげ、特別支援学級へのご案内や、支援級入級まで達しなくても、環境調整や個別の指導などの配慮ができる部分についてご提案するというところで、学校教育課とつながりを持っていくような形となっております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● ボーダーラインのお子さんの場合は、最後は保護者と相談した上で決めるのかと思いますが、判断基準はありますか。 	<p>→小さいうちに医療機関につながっているケースも多々あり、診断がついているお子さんについては、比較的入級につなげやすいということがあります。知的障害を持っていると思われる療育手帳を持っているお子さんについても、そのような形で特別支援学級を進める形となります。</p> <p>特に何もつながっていないけれど、園の見取りや</p>

	<p>保健師が見た中で気になるお子さんというのは就学相談から心理検査に引き継がれ、検査を取らせていただくように親子さんとお話しし、許可が出れば心理検査を取った中で、結果を返しながらか特別支援学級に行くのか、そこまで行く必要がなければ個別の指導についてお話をさせていただいております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 中学校では、統合失調症などで今まで普通学校に通っていても、特別な支援を要するケースもありますか。 	<p>→集団不適合というような形で出てくるお子さんもいますので、中学校に入ってから特別支援学級への入級を検討するお子さんもいます。</p> <p>逆に、小学校のうちに特別支援学級に入っていたけれども、徐々に情緒面で安定し、集団の中でも対応ができるということになれば、退級というケースもあります。</p>
<p>【富士吉田市外2町4村1組合ことばの教室共同設置事業】 学校教育課</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 人件費は県から出ている、管理維持費はこの事業の予算ということでしょうか。 	<p>→そうです。</p> <p>これは構成市町村から負担金をいただいております。負担割合は構成市町村の児童生徒数割や、通級学級が下二小にあるため、距離割を設けており、自宅から下二小が遠い構成市町村について負担割合を減らすことで調整をしています。事業費の約半分は富士吉田市が負担しております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● ことばの教室は年間を通して通う形ですか。良くなれば退級するものですか。 	<p>→計画が年度の初めにありますので、週に何回通うのか、下二小の児童であれば日中の長休みの時間に通うこともできますので、その子に応じた回数を計画しています。途中で退級というのはあまり聞かないですが、年度の終わりに退級ということはあると思います。</p>
<p>【小中学校情報セキュリティ強靱化事業】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 費用が2億4千万円増額していますが、今後も毎年同規模の額が必要なのでしょうか。また、その内容について教えてください。 	<p>→令和2年度の補正予算の1億5,750万円は、一人一台パソコンの整備費です。一人45,000円のを3,500名分で計上しています。このうち、2/3は国庫補助があります。その他、校内の高速大容量ネットワークの整備費用です。</p> <p>来年度以降は、4校分の電子黒板の導入、タブレットやネットワークの保守維持費、セキュリティ研修費等が毎年かかります。</p>
<p>【総合教育支援事業】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 総合教育支援員は、何名いらっしゃいますか。 	<p>→これまでも今年度も5名です。皆さん教員OBの</p>

	方で、うち1名は特別支援担当として、担当職員と支援学級・学校の就学相談を行っています。他の4名は、主に不登校や様々な問題を抱える家庭の生徒の支援を行っています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 実際に総合教育支援の対応を拝見しましたが、とても丁寧に我慢強く指導していただいていたと思います。引き続き頑張っていたいただきたいと思います。 	
【教育研修所事業】	教育研修所
<ul style="list-style-type: none"> ● 電子黒板やタブレットは積極的に活用していくことは、もちろんですが、それはそれとして、アナログの部分である体験活動はより一層目を向けて研修をしていくことが大切だと思います。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 電子黒板1つについても、先生によっては稼働できなかつたりする事実があると思います。これが一斉にクラス全員がタブレットを稼働する場合にきちんと一斉に使用できるかということ、それなりの専門的の人員配置をしなければスムーズにいかないのではないかと思います。 	<p>→先行してタブレットを配備した町田市においては ICT 支援員を小中学校 1 校に 1 人付けております。本市には教育研修所がありますので、この機能のいくらかを担っていかなければならないと思っております。まずは、情報教育担当を各校 1 名配置し、ICT 支援員がサポートに入り、タブレット等の ICT 教育の先駆者を育成していきます。例えば、夏休みの校内研修に情報教育担当と ICT 支援員に参加していただきます。</p> <p>タブレットについては、減価償却は 5 年になると思います。バッテリーの経年劣化もあります。5 年後は買換えの時期になり、国の補助金は一度きりと言われているため、今回は市費負担になることも考えられます。今は、この 5 年間でどのような研修が行っていけるかを検討します。数年後には学習者向けのデジタル教科書の活用も始まる予定です。まずは、指導者用のデジタル教科書と電子黒板をもってスタートしていきます。</p>
【小中学校校舎等維持管理事業】	学校教育課
<ul style="list-style-type: none"> ● 明見中学校の校舎・体育館の長寿命化には、どれくらいの費用がかかる予定ですか。 	<p>→設計業務は、継続事業で約 1,300 万円かかる予定です。これから設計の契約を行いますが、設計内容によって予定金額が確定してきます。長寿命化の工事は、柱や梁は残したまま、基本構造は変えずに改修します。明見中が、老朽化が一番進んでいる状況</p>

	<p>です。長寿命化できる期間も決まっており、全ての学校が長寿命化の改修を行えるわけではありません。長寿命化によって、その後 40 年持つと言われていきます。</p>
【就学時健康診断事業】	学校教育課
<ul style="list-style-type: none"> ● 今年は新型コロナの関係で、市民会館一カ所で実施するのではなく、各学校にて分散して行った方がよかったのではないかと思います。 	<p>→三日間で実施する中で、毎日大規模校と小規模校を組み合わせ、受付時間も 30 分間ずらす等の対応をとりました。その他にも、並んでいる間の間隔を設けたり、小ホールには 20 名しか入らない状況を作るなど、密にならない対策をとりました。</p> <p>他市町村も、各学校ではなく一カ所で集中的に実施するところが増えており、本市においても学校要望を受けて平成 29 年度より一カ所で行っているところです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 会場は、どのように換気をしていますか。 	<p>→常に外の空気と入れ替えるよう自動換気されています。市民会館全体がそのような方法で換気されています。</p> <p>知能検査の部屋では、一回終わるごとに筆記用具や机・椅子を消毒し、帽子のサイズ確認も毎回消毒をしました。引率の先生が消毒液を持ち歩き、次の工程に入る時は毎回児童の手の消毒を行いました。</p>
【学校給食センター運営事業】	学校給食センター
<ul style="list-style-type: none"> ● 富士吉田のアプリの中に給食の献立のページがあります。そこで写真やレシピの情報をアプリ内や SNS で見られると良いと思います。 ● 今年度、コロナの影響により、臨時休校が実施されたが、その分の給食費用は少なくなっているのでしょうか。 	<p>→市のホームページには、写真はすでに掲載しております。今後は SNS でも提供できるようにしたいと思います。</p> <p>→休校により給食停止があったため、収入、賄材料費ともに 1,300 万円ほど減額になっています。</p> <p>食材については、購入キャンセルできるものはキャンセルし、献立を変更して提供したためほとんど廃棄はありません。</p>
【青少年センター管理運営事業】	生涯学習課
<ul style="list-style-type: none"> ● 長寿命化計画で施設を修繕する場合と、解体して建て替える場合の検討はされていますか。 	<p>→解体は考えておりません。昭和 49 年に建てた施設ですので、様々な箇所に老朽化が見られます。今後 5 年、10 年利用することを想定し、どのような設備投資が有効なのか検討していきます。</p> <p>もし解体ということになれば、青少年センターが担っていた機能をどこでどのように移管していくかも検討が必要です。この件については、郡内地方に</p>

	<p>県の施設建設を要望しているところですが、代替施設の確保が一つの課題になっていくと思います。なお、現在、郡内では上野原市に県の施設があります。</p>
【青少年教育事業】	生涯学習課
<ul style="list-style-type: none"> ● 全国的に見て、成人祝賀会は20歳が多いのでしょうか。 	<p>→そうです。18歳ですと高校受験の時期と重なります。本県でも市町村会において統一してしばらくは対象を20歳ということで継続することとなりました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 短歌や吉田歌舞伎や詩吟等、高齢化で継承が難しい文化を、何かの機会に青少年の事業にリンクできればいいなと思います。 	
【放課後子ども教室推進事業】	生涯学習課
<ul style="list-style-type: none"> ● 学童保育とは異なるのでしょうか。 	<p>→学童保育は、全ての児童を対象とはしておらず、共働き等で児童の面倒を見られない世帯を対象にしている事業です。すでに全小学校で実施されています。18歳まで実施しています。</p> <p>放課後子ども教室は、そのような制約はなく、全ての児童を対象に、地域人材を活用して、児童を見守りながら地域で育てる事業です。17時半まで実施しています。</p>
【子供読書推進事業】	図書館
<ul style="list-style-type: none"> ● 本市の図書館は、近隣と比べて、土日祝日に開館していたり、イベントも行ったりと、利用者には助かりますが、勤務するスタッフにとっては負担が大変かかると思います。県内では他にこれほど活動している図書館はあるのでしょうか。 	<p>→図書に特化したコーナーだけでなく、それ以外にも様々な取り組みをして反響をいただいているところで、他の図書館からは情報提供を依頼されることもあります。</p> <p>職員については昨年度の要望で増員したところではありますが、日数的にも時間的にも負荷は増えています。シフトを組んで、職員の負担にならないよう考えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 各種イベントを行って、他市町村から反響はありますか。 	<p>→おかげ様で来週も県内の市町村から視察に行きたいという声をかけていただいているところです。県外の図書館からも講演をしてほしいと依頼されています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● ファーストブックからサードブックで、本ももらった子供たちの保護者の反応はいかがですか。 	<p>→読み聞かせ等ができる絵本であり、好評をいただいております。</p> <p>セカンドとサードについては、30冊の中から選択できます。ほぼ全員がもらっています。</p>

<p>【生涯学習講座事業】</p>	<p>生涯学習課</p>
<p>● 「富士の里市民大学」と「自由大学」の違いはなんですか。</p>	<p>→「富士の里市民大学」は、教育委員にも運営委員として従事していただいておりますが、市が主催する、月1回の成人を対象とした、講演を中心とした事業です。様々な分野の専門知識を持った方にお越しいただき、市民会館小ホールにて約90分間の講演をしております。前回は、山梨大使で”カラテカ”の矢部太郎さんにお越しいただきました。</p> <p>「自由大学」は、一般財団法人富士吉田市文化振興協会が主催している、個々の分野に特化した教室になります。書道、ダンス、陶芸など80を超える教室があります。</p>
<p>● 「社会学級」と「成人学級」の違いはなんですか。</p>	<p>→「社会学級」は、生涯学習課が主催するカルチャー・スクールです。</p> <p>「成人学級」は、各地区の文化部が主催しているものです。「自由大学」のようなイメージです。</p> <p>実施主体が異なります。「成人学級」と「家庭教育学級」は、昭和20年代から使われている名称となります。家庭教育教室については、昨年度から「ハートフル教室」といったサブネームをつけております。</p>
<p>【芸術文化振興事業】</p>	<p>歴史文化課</p>
<p>● 文化団体の構成員の高齢化は課題となっていると思います。私が学生の頃は、文化というと西洋のものでしたので、小中高の時に吉田歌舞伎や詩吟、陶芸等日本の古典芸能を学ぶ機会も大事だと思います。すぐには成果に表れないと思いますが、学生の時に学ぶ機会を設けて、後継者育成につながればと思います。</p>	
<p>【文化財保護対策事業】</p>	<p>歴史文化課</p>
<p>● 文化財の保存ということで、書類や木造物の保存はどのように行っていますか。</p>	<p>→書類に関しては、一定の温度及び湿度を管理した収蔵庫に保管しており、2年に1度燻蒸作業を行うことで害虫駆除を行っています。</p> <p>建物に関しては、建物の具材にもよりますが、薬物を塗布したり、屋根の吹き替えを行ったりしています。</p>
<p>● 文化財が本物か贋作か、学芸員の方もわかるものですか。自宅に文化財と思われるものがあつたとした場合、どのようにして博物館で</p>	<p>→本物か贋作かということについては、それぞれその時代の研究者もいる中で、その時代の作品である等の判別はわかりますが、金銭の価値を付けること</p>

<p>保管されることとなりますか。</p>	<p>はありません。また、文化財は市がすべて所有するわけではなく、個人の所有のまま文化財として指定を受けることとなります。</p> <p>博物館で保管することになる場合については、個人の所有者が、その後の湿度や温度等を含めた管理が難しくなった場合に、寄贈され、博物館が所有し管理していくというケースが多いです。</p>
<p>【博物館管理運営事業】</p>	<p>歴史文化課</p>
<p>● 5月からクレジット決済が導入されているとのことですが、どの位の利用者がいますか。</p>	<p>→PayPay 等の電子マネーが利用できるようになりました。入館者の内3割位にご利用いただいています。</p>
<p>【博物館学芸事業】</p>	<p>歴史文化課</p>
<p>● 展示公開の企画展は他館から美術品を借りたりして実施しますか。</p>	<p>→他館から美術品を借りるためには、専門の輸送業者に依頼しなければならず、美術品によってはライトに数時間しかあててはならないとか、取り扱いが非常にデリケートであり、かつお金もかかります。</p> <p>そのため、当館に保管している収蔵物の内、通常は非公開のものなどを期間限定で公開するなどして企画展を実施します。</p>
<p>【スポーツ推進委員事業】</p>	<p>生涯学習課</p>
<p>● CATV の自宅のできる運動は、継続発展させていただきたいです。(生活スタイルの)二極化という話を受け、スポーツ少年団に入る子もいれば、ゲームやスマホで遊ぶ子もいます。30代後半の女性が最も体力が低下しているというデータもあります。高齢者も孫等と一緒に運動しようとか、主婦が忙しい合間に家庭でストレッチを行うとか、運動していない方もできるよう継続をお願いします。</p>	
<p>【教育委員会管理事業】</p>	<p>学校教育課</p>
<p>● 500万円増加しているのが、プールの検討費用なのでしょうか。</p>	<p>→そうです。</p>
<p>● プールを民間のプールや共同で利用することになった場合、使わなくなったプールの建物は、どうなるのでしょうか。</p>	<p>→先進地では、水族館に転用したり、釣りができる施設にしたりしています。当市では、まだそこまでの検討はしていませんが、最終的に使わなくなると維持管理費用だけがかかってしまうため、再利用するのか、取り壊すのかも含めて今後検討することとなります。</p>

